

「創造空間」で人と仕事を変える

吉武工務店 吉田丈彦社長

FBI 企業探訪 学生記者が行く

1965年創業の吉武工務店（大阪府東大阪市）は、オフィス空間を快適にするリフォーム「クリエイティブオフィス」を中心に手掛け、一般住宅のリフォームや新築なども行う。オフィスのリフォームは「吉野の杉」などこだわり抜いた素材を使用し、利用者の創造力を高められるようなデザインを追求している。「空間の変化で人と仕事は変わる」と語る吉田丈彦社長に、空間づくりへのこだわりや今後の展望を聞いた。

——クリエイティブオフィスについて

「経済産業省が、企業の生産性や個人の能力の向上のため推奨しているオフィス環境だ。自社では『利用者が快適に、創造力を発揮して働ける』ことを目指して独自の方法で取り入れており、デザインや素材に特にこだわっている。デザインに関しては基本的に、中国の詩人、歐陽脩（1072年没）がアイデアを生むため重視していた枕上と廁

上を意識したつくりをしている。それぞれ寝床とトイレを意味し、一人になってリラックスできる空間を追求している」

「中央に掘りごたつがある寝室には畳を敷き、トイレの壁や洗面台には化学物質を含まない『無垢材』を使用している。木材は奈良や和歌山、高知、新潟まで自分の足で探しに行く。ほかの素材として、多孔質の火山噴出物を使った消臭・調湿効果の高い壁や、蜜ろうを使った天然ワックスを用いている」

——始めたきっかけは

「会員になっている中小企業経営者が集まる大阪府中小企業家同友会（大阪市中央区）では、職場環境や女性採用など中小企業経営者が抱えている悩みに触れる機会が多い。その解決を通じて中小企業を活性化したいと感じ、2011年にクリエイティブオフィスの推進を始めた。大学で建築を学び、大手ゼネコンで現場所長を務めた経験があったため、それを生かせると思った」

——推進のための努力は

「クリエイティブオフィスの雰囲気と効果を実際に多くのお客様さまに感じてもらうため、自



「空間づくりで中小企業を活性化したい」と語る吉田丈彦社長—大阪府東大阪市

社オフィスをモデルルームに改装した。その結果、導入を希望するお客さまや魅力を感じてくれる若者が現れ、施工を本格的に開始できるようになった。昨年には初めて新卒社員を採用できた」

——導入した企業で起こった変化は

「ある企業は工場の2階にカフェ空間を取り入れたことで、セミナーや研修会、勉強会などを行えるようになった。別の企業では、オフィスをバーとして

利用することで社内外の人が集まり、対話できる空間が生まれた。そのほか、ゆっくりアイデアを練られる空間がトイレなどにできたことで、電子基板の製造工場の製品を利用したアクセサリを作るようになり、テレビ取材を受けた企業もあった」

——今後の展望は

「女性の積極的な雇用を考える大阪の中小企業経営者は数多い。そこで昨年、中小企業で働きたいという女性が増えるよう『女子力アップトイレ』

を考案した。化粧直しスペースや個人用収納スペースなどを設け、女子トイレをより快適にする取り組みだ。経営者の女性社員に対する配慮を、トイレという形で伝えることができる。今はまだ大きく力を注いでいないが、将来的には『女子トイレといえば吉武工務店』といわれるくらい、この事業を推進していきたい」

（学生通信社

大阪大学 法学部

明石光太郎）